

連載

Turbo

HAMLOGの

部屋

Turbo HAMLOG開発者
JG1MOU 浜田 博 Hiroshi Hamada

第19回

HAMLOGの表示メニュー

前号に続き、Turbo HAMLOG/Win(以下、HAMLOGと略します)の[表示(V)]メニューについてご紹介します。

表示(V)メニューから

図1は、HAMLOGのメインウィンドウから[表示(V)]メニューを開いた状況です。

この中から前号に引き続いて解説します。

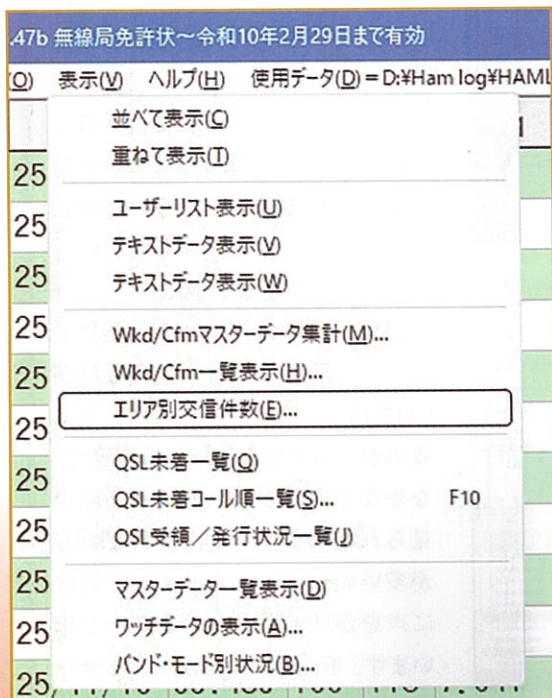


図1 HAMLOGの表示メニュー

エリア別交信件数(E)

図2は[エリア別交信件数]のウィンドウで、筆者の交信状況を表示しています。

国内のエリアごとの交信件数と、DX局との交信件数を、バンドごとに計算します。

バンドの項目にSATがありますが、周波数に“/”が含まれる場合は、SAT(サテライト)としてカウントします。

コールサインにJG1MOU/MM, JG1MOU/QRP, JG1MOU/Pのように入力されているデータは、コールサインのエリア番号で判断しています。

レコード番号の範囲指定

レコード番号(QSOデータの通し番号)の範囲を指定し、計算することができます。

図3は、左側のレコード番号を2025年の最初の交信としてみたもので、筆者の今年に入ってからからの交信状況がわかります。

左側のレコード番号は、HAMLOGを終了しても保存されていますが、右側のレコード番号は常に最終のレコード番号が初期値としてセットされます。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	DX	計
1.9	13	9	10	1	2	3	5	4	3	1	3	54
3.5	971	331	346	165	78	122	255	106	84	204		2,662
7	9,882	3,740	4,204	1,829	786	1,246	3,107	1,350	983	2,011	151	29,289
10	24	11	11	6	2	5	3	1	3	2		68
14						1						1
18					1							1
21	43		4	6	2	6	2	9			10	82
24												
28	41	1	1	4		9	1	32		1	1	91
50	3,399	374	218	122	60	287	218	149	52	160	17	5,056
144	4,805	524	338	112	50	27	292	61	111	284		6,604
430	2,624	64	27	13	5	1	35	1	2	70		2,842
1200	55											55
2400												
5600												
SAT												
10G												
計	21,857	5,054	5,159	2,258	986	1,707	3,918	1,713	1,238	2,733	182	46,805

図2 HAMLOGの表示メニューから開いた「エリア別交信件数」のウィンドウ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	DX	計
1.9												
3.5	27	9	11	1	3	3	3	3	2	8		70
7	1,749	684	642	308	132	228	559	239	134	338	3	5,016
10												
14												
18												
21												
24												
28												
50	52	1			1				2	3	1	60
144	177	9	5			1	5	2	2	3		204
430	195	3		1								201
1200	2											2
2400												
5600												
SAT												
10G												
計	2,202	706	658	310	136	232	567	244	140	354	4	5,553

図3 2025年中の交信状況を調べるため、レコード番号の範囲を指定した状況

Mode 指定

「Mode 指定」欄には、モードをカンマで区切って複数指定することができます。空欄の場合は、全電波型式です。

レコード番号の範囲やモードを変更したら、「再計算」ボタンをクリックします。

図4は、「Mode 指定」欄にFMとSSBを指定した2025年中の交信状況です。筆者の場合、最近

FT8ばかりオンエアーしているので交信件数が少ない状況です、hi。

ユニークな交信局数を調べる

ウィンドウのタイトル行には全交信局数が表示されています。

これは、国内局DX局に関係なくコールサインの数を計算した数値で、コールサインの重複を排除した数です。

全交信局数には、Mode指定は反映されません。

図2のウィンドウのタイトル行には14,246局と、図3、図4では1,759局と交信していることがわかります。

QSL 未着一覧(Q)

図5(p.166)は「QSL未着一覧」のウィンドウで、QSLカードを受領していないデータを一覧表示します※1。

この表示には、このあとの「QSL未着コールサイン順一覧」の中で解説する「受領済みでも表示」の設定が適用されます。

一覧表示されているセル上でInsertキーを押すと、QSL受領マークとして*印が書き込まれます。

また、一覧表示されているセル上でスペースキーや、Shiftキーを押しながら↑↓キーを押すと水色に選択されます。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	DX	計
1.9												
3.5												
7	166	72	52	19	13	4	77	14	18	44		479
10												
14												
18												
21												
24												
28												
50	19	1										20
144	79											79
430	156											156
1200												
2400												
5600												
SAT												
10G												
計	420	73	52	19	13	4	77	14	18	44		734

図4 モードにFMとSSBを指定した2025年中の交信状況

右クリックメニューについて

図5の右クリックメニューについては、このあとの[QSL未着コールサイン順一覧]や[QSL受領/発行状況一覧]でも同様です。主なものを解説します。

すべて選択(A) 選択の解除

一覧表示されている内容をすべて選択状態にします。また、選択状態を解除します。

同上、エクセル用にコピー

スペースキー等で選択したデータを、タブ区切りの文字列としてコピーするので、そのままエクセルに貼り付けることができます。

選択データを一覧から除外(D)

一覧表示中の選択したデータを削除します。QSOデータを削除するわけではありません。

データの編集(E)

[データの表示&修正]ウィンドウが表示されます。

QSL未着コールサイン順一覧(S)

JARLビューローからQSLカードが届き、QSL受領チェックをするときに便利のように、コールサインやサフィックスを1文字ずつ入力することに該当する局を検索していきます。

図6は[QSL未着コールサイン順一覧]のウィンドウで、この状態からQRコードを使って該当する交信を探すこともできます。

QRコードを使ったHAMLOGのQSLカード受領チェック簡略化については、本誌2023年11月号でご紹介しました。

QSL未着一覧 (計3,713件)

No	Call	Date	Time	His	My	Freq	Mode	Code	Q-L	QSL
46756	7K1CPT	25/11/04	17:08J	-01	-01	7.042	FT8			PM!J
46761	JH7UKE	25/11/04	17:1	すべて選択(A) 選択の解除 選択データのコピー(C) 同上、エクセル用にコピー QRコードから貼り付け照合					0102	QMIJS
46792	JG2MWA	25/11/05	11:0						02	PM!J
46800	JG3MPK	25/11/07	13:2						0109	PM!J
46809	JA1YYE	25/11/12	15:1						009C	PM!J
46815	J11JRE/1	25/11/14	20:4						00	J
46816	JR1DVB/1	25/11/15	20:0	検索結果の出力(O) 選択データを一覧から除外(D) データの編集(E) 定義ファイル変更(F) 閉じる(X)					03	J
46818	JA5WAF/P	25/11/15	20:2							PM!J
46819	JH7LOC	25/11/15	20:2						07	QMIJS
46827	JG2REJ	25/11/17	13:00J	+13	+04	7.041	FT8	1815		PM!J

図5 表示メニューから開いた[QSL未着一覧]のウィンドウ

サフィックス検索

図6の例では、[サフィックス検索]にレ点が入っていますのでサフィックス順にデータが並んでおり、サフィックスを1文字ずつ入力することに検索していきます。これはお勧めの機能です。

サフィックス検索では、QSLカードを送ってくれた局のサフィックスを3文字入力するだけで該当する交信データを探すことができますので効率的です。

[サフィックス検索]のレ点を外すと、コールサインによる検索となります。

受領済みでも表示

図6では[受領済みでも表示]の欄に“EH”と記入されていますので、QSOデータ中のQSL欄3文字目が空欄(QSL未着)のほか、QSL欄の3文字目にEまたはHが記入されている交信も表示されています。

筆者の場合、電子QSL受領済みであっても約1年後に紙のQSLカードが届くことがあるので表示させています。

QSL未着コールサイン順一覧 (QSL受領チェック用) (計19,139件)

No	Call	Date	Time	His	My	Freq	Mode	Code	Q-L	QSL	Name	QTH	Remarks 1
39292	8J100UYE	24/08/12	21:25J	-01	-01	430.511	FT8	1701		JN	山梨県甲府市		
45412	8J9A/P	25/08/09	13:59J	+03	+03	7.042	FT8			JN			

サフィックス: 再表示 ☐ 受領済みでも表示: ☐ EH ☐ サフィックス検索 ☐ 一行選択 ☐ NumLock オン このデータ以降を対象: 19350

図6 表示メニューから開いた[QSL未着コールサイン順一覧]のウィンドウ。誌面の都合上2局分だけ表示している

一行選択

図6では「一行選択」にレ点が入っていますので、個々のセルではなく1行全体が青色に表示されていて、見やすくなっています。

NumLock オン

図6では「NumLock オン」にレ点が入っています。QRコードリーダーを使って検索する場合、キーボードのNumLockがオンの状態でなければQRコードをうまく読み取れないようです。

「NumLock オン」にレ点を入れておくと、HAM LOGが強制的にNumLockキーをオンにします。

いつもはNumLockをオフで使用している場合は、「NumLock オン」にレ点が入っていても「QSL未着コールサイン順一覧」を閉じたときにオフの状態に戻ります。

このデータ以降が対象

図6の「このデータ以降が対象」では、レコード番号を指定します。図6では、19350という数字が入力されています。

検索が遅くならないよう、指定したレコード番号以降をメモリに読み込んで、サフィックスやコールサインで検索します。

したがって、指定したレコード番号よりも前は検索対象外となりますので、例えば「5年以上前の交信は対象外とする」といった使い方ができます。

なお、QRコードを使った場合は、全データが検索対象となります。10万件を超える交信データでも検索は瞬時です。

サフィックス検索で該当する交信を探してみる

図6の状態では、サフィックスを実際に入力してみます。試しに、筆者のフレンド局JJ0JID局からQSLカードが届いたものと仮定します。

図7 サフィックス1文字目

図7は、図6の状態ではJを押した状態です。サ

フィックスがJで始まる一群が表示され、サフィックス入力欄がアクティブになりました。

図7 サフィックスの1文字目としてキーボードのJを押した状況

No	Call	Date
40110	JF11ZZ	24/11/04
41245	JF11ZZ	24/12/31
45464	JF11ZZ	25/08/09
27355	8N0J	22/02/21
35350	JS2JAD	23/09/11
38983	JH0JAE	24/06/28
44205	JH0JAE	25/05/29
34002	J04JAE	23/05/12
34264	JA0JAE	23/05/26
—	—	—

サフィックス: J

図8 サフィックス2文字目

図8は、続いてIを押した状況です。サフィックスがJIで始まる一群が表示されました。

No	Call	Date
23774	JH7JHX/P	21/05/04
24569	JH7JHX/7	21/07/24
39057	JH7JHX	24/07/21
25049	JS2JIA	21/08/29
28958	JG1JIC	22/06/03
30921	JG1JIC	22/10/16
32006	JG1JIC	23/01/03
34789	JG1JIC	23/06/24
35403	JG1JIC	23/09/17
—	—	—

サフィックス: JI

図8 サフィックスの2文字目としてキーボードのIを押した状況

図9 サフィックス3文字目

図9は、続いてDを押した状況です。JID局が3局現れました。

No	Call	Date
34789	JG1JIC	23/06/24
35403	JG1JIC	23/09/17
36537	JG1JIC	24/01/03
23388	JA2JID	21/04/17
23909	JA2JID	21/05/08
26019	JJ0JID/0	21/11/06
34018	JE1JIM	23/05/12
22847	JA4JIP	21/02/18
25511	JA4JIP	21/09/24
—	—	—

サフィックス: JID

図9 サフィックスの3文字目としてキーボードのDを押した状況

ここで一度 Enter キーを押すと、
交信一覧がアクティブな状態（サ
フィックス入力欄にはカーソルがない
状態）に戻ります。

図10は、図9(p.167)の状態で
Enterキーを押して交信データ一覧
をアクティブにし、上下矢印キーで目
的とする交信を選択した状況です。

QSL受領済みマークの 書き込み

一覧表示された交信上で Insert
キーを押すと、QSL 欄 3 文字目に*印が書き込まれ、
QSL 受領済みとなります。

アルファベットを書き込みたい場合は、Shift キー
(または Ctrl + Shift キー) を押しながらアルファベッ
トキーを押すと、そのアルファベットが書き込まれ
ます。

さらに交信一覧上で Enter キーを押すと、[デー
タの表示&修正] ウィンドウが表示されますので、
QSLカードを見ながらデータの修正、追記をするこ
とができます。

QSLカード記載の交信が 見つからなかった場合

もし、サフィックス 3 文字目を押しても該当する交
信データが現れない場合は、すでに QSLカード受
領済みで再送されてきた QSLカードである可能性が
あります。

QSL未着コールサイン一覧 (QSL受領チェック用) (計3,200件)

No	Call	Date	Time	His	My	Freq	Mode
24194	JH1QQN	21/06/05	10:20J	59	59	144.210	SSB
25839	JH1QQN						T8
40341	JH1QQS						M
21830	JA4QUH						T8
28333	JF2QUL						T8
32928	JA7QVI						T8
36456	JR8QVT	23/12/23	09:23J	+18	-07	7.041	FT8
41332	7K2QWB	25/01/04	12:37J	59	59	433.160	FM
31800	JA2QWF	22/12/28	21:08J	+00	+20	3.532	FT8

サフィックス: 再表示 受領済みでも表示

図11 Shift キーを押しながら [再表示] ボタンをクリックし、
表示させたコールサイン検索ウィンドウ

QSL未着コールサイン一覧 (QSL受領チェック用) (計19,139件)

No	Call	Date	Time	His	My	Freq	Mode	Code	3-L	QSL
34789	JG1JIC	23/06/24	21:23J	+08	+00	430.511	FT8	1408	QM	JHH
35403	JG1JIC	23/09/17	11:01J	+16	-03	430.511	FT8	1408	QM	JHH
36537	JG1JIC	24/01/03	20:32J	-01	-02	430.511	FT8	1408	QM	JHH
23388	JA2JID	21/04/17	22:09J	+14	+01	3.533	FT8	1803		HHH
23909	JA2JID	21/05/08	20:35J	+06	-16	144.460	FT8	1803		HHH
26019	JJ0JID/0	21/11/06	14:42J	59	59	7.051	SSB	08015D		HHH
34018	JE1JIM	23/05/12	21:02J	-03	-01	7.041	FT8	1114	PM	J
22847	JA4JIP	21/02/18	12:56J	59	59	7.068	SSB	3505		J*
25511	JA4JIP	21/09/24	16:02J	59	59	7.069	SSB	3505		J*

サフィックス: 再表示 受領済みでも表示: ☒ サ

図10 目的とする JJ0JID 局を選択した状況

このときは、Shift キーまたは Ctrl キーを押しな
がら [再表示] ボタンをクリックすると、コールサイ
ン検索ウィンドウが表示されます。

図11は、サフィックスに“QUM”と入力しても交
信すべてが QSL 受領済みで検索できなかったため、
Shift キーを押しながら [再表示] ボタンをクリック
した状況です。

このとき、コールサイン検索ウィンドウにはすで
にサフィックスが入っていますので、プリフィックス
だけ入力すればコールサインで検索し、[データの
表示&修正] ウィンドウが表示されます。

届いた QSLカードに 照合用 QRコードがある場合

届いた QSLカードに #QRCode 命令による QR
コードが印刷してある場合、QRコードリーダーやカ
メラアプリを使って該当する QSO を一発で
表示させることができます。

図12は、市販の QRコードリーダーで、3,000
円程度で購入することができます。



図12 市販の QRコードリーダー



図13 フレンド局から届いた紙の QSL カード

QRコードリーダーを使う場合は、NumLock オンにレ点を入れてください。

図13は、フレンド局から届いた紙の QSL カードで、赤い枠の QR コードが交信照合用の QR コードです。

この QR コードには交信情報が記録されていますので、QR コードに書き込まれているコールサイン・交信年月日・時刻・バンドで照合して該当する交信を「データの表示&修正」ウィンドウに表示します。

交信時刻が UTC だった場合でも、JST に変換して QR コードに記録されている時刻と照合します。

交信時刻の誤差は、前後 15 分まで許容します。

該当する交信がなかった場合は、コールサインの近い局が選択されます。

これにより、相手局と過去に何十回、何百回と交信していて QSL 受領済みであっても、一発で該当する交信を探しだすことができます。

QSL カードに QR コードを印刷する方法や、QR コードによる QSL カード受領チェックの詳細は、本誌 2023 年 11 月号や HAMLOG のヘルプを参照ください。

QSL 受領／発行状況一覧 (計39,341件)											
No	Call	Date	Time	His	My	Freq	Mode	Code	Q-L	QSL	Name
46813	7M1SZJ/1	25/11/13	09:17J	59	59	7.060	SSB	1404	HSB		茨城県
46814	JK3WKK/3	25/11/13	10:08J	59	59	7.048	SSB	22006A	HSB		京都府

図14 表示メニューから開いた「QSL 受領／発行状況一覧」のウィンドウ。誌面の都合上 2 局分だけ表示している

QSL 受領／発行状況一覧 (E)

QSL カードの受領状況や発行状況を検索し、一覧表示します。

図14は、「QSL 受領／発行状況一覧」のウィンドウです。

QSL-1 (Via)

QSO データ中の QSL 欄 1 文字目を指定します。

JARL 経由の場合は、J です。

QSL-2 (Sent)

ここにレ点が入っていると有効となります。QSO データ中の QSL 欄 2 文字目が検索対象となります。

ここにレ点を入れて空欄の場合は、QSL 欄の 2 文字目が空白、つまり QSL 未発行のデータを一覧表示します。

QSL 欄の 2 文字目を複数指定することができます。

QSL-3 (Rcv)

ここにレ点が入っていると有効となります。QSO データ中の QSL 欄 3 文字目が検索対象となります。

ここにレ点を入れて空欄の場合は、QSL 欄の 3 文字目が空白、つまり QSL 未受領のデータを一覧表示します。

QSL 欄の 3 文字目を複数指定することができます。

図14の例では、QSO データ中の QSL 欄 1 文字目に J, D, E, H のいずれかの文字が入力され

ていて、かつ、QSL 欄 3 文字目に*, E, H のいずれかの文字が入力されているデータ (QSL 受領済み) を一覧表示しています。

それでは、次号に続きます。